

JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

エントリー番号	(当会で記入致します)
氏名*	吉野 敏充
フリガナ*	ヨシノ トシミツ

所属団体*	吉野敏充デザイン事務所
活動内容* (200文字以内)	【地域をデザインするデザイナー】 地元である新庄もがみ地域を中心に、 地域デザインのプロジェクトを展開 。作り手と住民をコミュニケーションでつなげる「KitokitoMarche(キトキトマルシェ)」の開催や、地域の食文化や工芸品を後世に繋いで行くプロジェクトの企画・運営を手掛ける。多様な年代の人々と地域の魅力を発信する仕組みを構築し、住民にとって「何もない新庄」を、「魅力ある新庄」に変革しつつある。
活動カテゴリー*	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 ()
紹介者氏名 紹介者がいる方は記入	公益社団法人新庄青年会議所 長澤 大輔
紹介者所属団体	公益社団法人新庄青年会議所

JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？*	青年会議所 会員 からの推薦(新庄青年会議所)・ホ ム ページ・フェイスブック・ チラシ・メディア()・その他()
---------------------------------	--

紹介理由
(200文字以内)

新庄もがみは山形県北部に位置し、少子高齢化や人口減少といった、地方ではありふれた地域課題を抱えている。一方で特有の様々な産業や、在来作物などの特徴的なコンテンツは、担い手不足や時代の変化で消え去ろうとしていた。吉野氏は失われかけた地域の輝きを再発掘し、様々な形に「デザイン」することで、多くの人々に発信している。彼の取組を評価し学ぶことは、同じような地域にとって希望となるのではないかと考え推薦した。

■PR活動（全200文字以内厳守）

顔写真*



経歴
(200文字以内)

2010年
吉野敏充デザイン事務所 設立
2012年
・「土内廃校プロジェクト」が山形県主催輝けやまがた若者大賞を受賞。
・「Kitokito Marche」をスタート
2015年
・「最上を受け継ぐヒトとモノ」が山形県主催山形エクセレントデザイン2015で地域デザイン賞を受賞
2016年
・「Kitokito Marche」が山形県主催輝けやまがた若者大賞を受賞
・国土交通省主催手づくり郷土賞国土交通大臣表彰を受賞

<p>活動PR1* (200文字以内)</p>	<p>【Kitokito Maruche(キトキトマルシェ)】</p> <p>新庄もがみ地域における「つくり手」と、住民をつなげるマルシェ。作る人と買う人が出会い、野菜や農業、そして食べることについて話すことで、お互いを理解し、知らなかった魅力に気づくことができます。その月ごとに、親子で楽しめるアートや、カレーフェスなどのテーマを設けることで、2,000人以上の来場者とともに地域で暮らす楽しみを発見しています。</p>
<p>活動PR2* (200文字以内)</p>	<p>【Shinjo ii-nya Food(新庄いいにゃ風土)】</p> <p>新庄もがみには、雪国ならではの生活の知恵、手業、保存技術、そして豊作を祈りつつ、食材を残さず調理する食文化が残っています。その豊かさを再発見し、再デザインすることで、新たな価値をとともに発信するために企画。生産者と製造者をつなぎあわせながら新庄の食材と食文化を次世代に残して行くことを目指しています。(「いいにゃ」は方言で「いいね」を意味)</p>
<p>活動PR3 (200文字以内)</p>	<p>【最上を受け継ぐヒトとモノ】</p> <p>最上地域では、農作業がない冬の間、人々は手仕事を生業としてあらゆる暮らしの道具を作ってきました。自然に寄り添って暮らし、豊富な天然素材を使って、それぞれのライフスタイルに合わせて手仕事をする。そうやって受け継がれてきた、モノ・ヒトを知って頂き、最上のみならず、これからの暮らしや文化の豊かさについて考えるきっかけを提供する目的で、イベントやWEBサイトなどで発信しています。</p>
<p>SDGsのゴールとターゲット番号及び結びつきの説明</p>	<p>番号の記入(12 持続可能な生産消費形態を確保する) (12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。)</p> <p>説明(デザインの力で、作り手と消費者を結び、またそのバックグラウンドにある地域ならではの文化を発信することで、豊かで持続可能なライフスタイルの体験と、それを考えるきっかけを提供しています。)</p>

■質問事項(全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください</p> <p>30歳で地元に戻り、その時のイメージは「何もない新庄」だった。様々な人と知り合うことで、地元ならではの食文化やライフスタイルなど、離れる前には知らなかった魅力に気づきはじめた。ここに暮らす人びとや他の地域の人にも、自分が体験したような、魅力を発見して地域を好きになる体験をしてもらいたいと思い活動を始めた。自身の生業であるデザインを通じた関わりから、徐々に活動の輪が広がり、現在に至る。</p>
---------------------------	--

<p>質問2* (200 文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)</p> <p>「何も無い街」という認識を変えたい。他の街と比較するのではなく、「新庄には〇〇がある」「東京には〇〇がある」とそれぞれの魅力を見つけ、住民が自信を持って生活することができる地域を実現したい。また、活動を通して、様々な性質の人、アーティストや作家を受け入れ、地域ならではのライフスタイルを楽しみながら、住民との関わり合いとともに、魅力ある新庄もがみをつくりたい。</p>
<p>質問3* (200 文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)</p> <p>月一度の「キトキト(方言でゆっくりを意味します)マルシェ」では、かつて養蚕試験場として使われた施設を利用し、地元の農家やクリエイターが参加するマルシェを開催しています。会話を通して、つくり手と住民がつながることで、これまで知らなかった魅力を発見。その月ごとに、親子で楽しめるアートや、カレーフェスなどのテーマを設けることで、2,000人以上の来場者とともに地域で暮らす楽しみを発見しています。</p>
<p>質問4* (200 文字以内)</p>	<p>あなたの行っている活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)</p> <p>徐々に住民の意識変革が起こりつつあります。住民の協力が増え、中高生ボランティアが運営や企画に積極的に関わるようになりました。また、ボランティアに対し、学校も応援体制を構築し、多様な年代の人々と地域の魅力を発信する仕組みが出来ました。一方で参加住民についても、新庄で暮らす楽しみが増えた、参加農家やクリエイターとの交流で新たな楽しみを見つけた、などの声が多く聞かれるようになりました。</p>
<p>質問5 (200 文字以内)</p>	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください</p> <p>自分ひとりで何でもできるリーダーではなく、自分ひとりでは何もできないが、触媒となることができる人達をつないで、ビジョンを実現する人がリーダーだと考えます。その分、人を巻き込む多くのアイデアを持って、楽しみながら行動することが必要です。</p>

■推薦者情報 推薦者がいる場合の

み記入

<p>ブロック名*</p>	<p>東北地区山形ブロック協議会</p>
<p>青年会議所名*</p>	<p>公益社団法人新庄青年会議所</p>
<p>担当役職*</p>	<p>総務委員会 副委員長</p>
<p>担当者氏名*</p>	<p>長澤大輔</p>
<p>フリガナ*</p>	<p>ナガサワダイスケ</p>

推薦理由*
(200 文字以内)

新庄もがみは山形県北部に位置し、少子高齢化や人口減少といった、地方ではありふれた地域課題を抱えている。一方で特有の様々な産業や、在来作物などの特徴的なコンテンツは、担い手不足や時代の変化で消え去ろうとしていた。吉野氏は失われかけた地域の輝きを再発掘し、様々な形に「デザイン」することで、多くの人々に発信している。彼の取組を評価し学ぶことは、同じような地域にとって希望となるのではないかと考え推薦した。